

# 発刊にあたって



第43回全国育樹祭沖縄県実行委員会会長  
沖縄県知事  
玉城 デニー

令和元年12月14日及び15日の両日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、「うけつごう 豊かな緑と みんなの笑顔」を大会テーマとして、第43回全国育樹祭を開催いたしました。

12月14日に「沖縄県平和創造の森公園」（糸満市）で開催しましたお手入れ行事では、平成5年の第44回全国植樹祭において当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたリュウキュウマツとフクギに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ（枝打ち・施肥）を賜るとともに、参加された皆様にも育樹活動を行っていただきました。植樹祭、そして育樹祭を経て育まれた豊かな緑の公園が、今後とも継続して森林を守り育てることの大切さを、世代を超えて発信し続けていく場となることを期待しております。

また、12月15日には「沖縄コンベンションセンター」（宜野湾市）において、県内外から約3,000人の皆様が御参加されるなか式典行事を開催し、沖縄の歴史・文化を育んできた山・川・海にある3つの森林（もり）の紹介や、その大切さを想う心を表現する伝統芸能、創作ダンスなどのアトラクションも交え、森林と私達の暮らしの深いつながりを再認識するとともに、豊かな森林を次世代に引き継いでいく決意を共有しました。

さらに、育林交流集会、全国緑の少年団活動発表大会、森林・林業・環境機械展示実演会や緑フェスなどの併催・記念行事を含めた一連の行事には、約26,000人もの方々に御来場いただき、盛会の内に行事を終えることができました。開催にあたり、御尽力、御協力いただきました多くの関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

沖縄県では、これまで潤いと安らぎのある緑の美ら島の創生を目指し、全県的な緑化運動や豊かで持続可能な森林を育てるための森林づくりに取り組んでまいりましたが、今後も、本育樹祭を契機に盛り上がった緑化運動や森林づくりの機運を高め、100年先を見越した全島緑化の取組みや自然環境に配慮した森林整備を更に進めてまいります。

結びに、この記録誌が本大会の成果と感動を後世に伝えるものとして、豊かな緑とあふれる笑顔が未来の世代に引き継がれ、沖縄県から全国、そして世界へと広がっていくことを祈念して、発刊の挨拶とさせていただきます。